

米空軍グローバルホークの横田飛行場への一時展開について

一時展開の経緯

- グアムを拠点に運用されている米空軍グローバルホークは、平成25(2013)年10月の日米「2+2」共同発表において、平成26(2014)年から日本においてローテーションによる展開を行う旨記述。その後の日米協議を踏まえ、夏季における台風等悪天候の影響を回避し、より安定的な運用を確保するため、平成26(2014)年から三沢飛行場へ一時展開を開始。
- 令和元(2019)年は、米軍の運用事情を踏まえ、平成29(2017)年に続き、横田飛行場へ一時展開する。これは、現下の安全保障環境を踏まえた地域における運用ニーズと、運用可能な機数等を踏まえ、安定的・効果的なグローバルホークの運用を引き続き、最大限確保し、もって実効的なISR(情報収集、警戒監視、偵察)活動を継続的に行う観点から、横田飛行場へ一時展開するもの。

グローバルホークの概要

- 情報収集、警戒監視、偵察を任務とする米空軍保有の高高度滞空型無人偵察機
その特徴は、以下のとおり
 - ・画像等の情報収集を実施
 - ・攻撃能力なし
 - ・高度5万フィート(約1万5千m)以上で航行
 - ・無線通信及び衛星通信により地上から操縦

RQ-4B(グローバルホーク)



全幅	約40 ^{ft}
全長	約15 ^{ft}
全高	約5 ^{ft}
滞空時間	約36時間
最大高度	約65,000ft

横田飛行場における一時展開の概要

- 展開元 : アンダーセン空軍基地(グアム)
- 展開機数等 : グローバルホーク×4機、人員数約80名
- 展開期間 : 令和元年8月5日頃～同年秋までを予定。
- その他 : 騒音規制措置は可能な限り遵守する。

展開年・場所	展開期間
平成26年(2014年)三沢	平成26年5月下旬～平成26年10月上旬
平成27年(2015年)三沢	平成27年7月上旬～平成27年12月上旬
平成29年(2017年)横田	平成29年5月上旬～平成29年10月下旬
平成30年(2018年)三沢	平成30年6月上旬～平成30年10月上旬